

## 平成30年度国内における米海兵隊との実動訓練 (フォレストライト01)に係る要請について

平成30年度国内における米海兵隊との実動訓練を、日出生台演習場等で行わないよう要請したにもかかわらず、地元自治体や地域住民に対し、12月7日(金)から19日(水)の間に実施する予定であるとの説明がありました。特に、この訓練では、沖縄の負担軽減のため、米海軍MV-22オスプレイ等が使用される予定であり、大変遺憾であります。

それでも、今回の米海兵隊との実動訓練を実施するということであれば、少なくとも地元自治体としては、地域住民の不安解消と安全確保のため、下記の事項について万全の措置を講じられるよう要請します。

なお、要請事項については、早急に文書でご回答いただきますようお願いいたします。

### 記

- 1 本県は、既に沖縄の基地負担軽減のため、米海兵隊による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練を受け入れていることから、平成28年9月1日付けの日米合同委員会合意に基づき、現在、普天間飛行場に所在するMV-22オスプレイ等の訓練移転を、今後、本県の日出生台演習場等で行わないこと。
- 2 訓練を実施するのであれば、治安・安全確保のために十分な措置を講じるとともに、「日出生台演習場の使用等に関する協定」及び「十文字原演習場の使用等に関する協定」を遵守すること。  
特に、米兵の滞在期間中の外出には職員等が同行するなど格段の配慮を行うこと。

3 MV-22オスプレイについては、他県で緊急着陸する事案が多く発生しており、昨年8月には大分空港にも緊急着陸したところである。住民が安全面等に大きな不安を抱えていることから、次の事項について、特段の配慮を行うこと。

(1) 訓練内容や飛行ルート・飛行高度・飛行時間帯・機体番号、騒音・振動の程度及び住民生活への影響の有無等について正確な情報提供を行うこと。

(2) 安全対策の徹底と騒音軽減等十分な措置を講じること。

(3) 機体が不安定になりやすい転換モードでの飛行は、日出生台演習場上空のみで行うとともに、これまでトラブルを起こした機体を訓練で使用しないこと。

4 訓練等に関する情報開示を可能な限り早期かつ正確に、関係自治体に対し行うこと。特に、次の事項については、特段の配慮を行うこと。

(1) 米兵の入県及び離県並びに滞在期間中の外出については、日程及び行き先等を事前に公表すること。

(2) 装備品の搬入、搬出を行う日時、ルート等に関する情報については、事前に公表すること。

(3) 地元自治体、住民等へ訓練内容を公開すること。

(4) 訓練内容については前日までに、また当日の訓練内容についても終了後速やかに、県および関係自治体に通知すること。

5 米軍に対して、規律保持、治安・安全確保のための十分な措置を講じるよう要請するとともに、航空機の飛行高度については、日本の航空法を尊重するよう要請すること。

また、先発隊の到着から後発隊の離県までの滞在日数を可能な限り短縮するよう要請すること。

- 6 本地域が全国有数の観光地であることも考慮し、オスプレイを使用した訓練及び射撃訓練の実施時間は、8時から20時までとし、騒音・振動が伝わりやすい気象条件下では、訓練を自粛するなど周辺住民への配慮を行うこと。  
また、訓練期間中の騒音・振動については、演習場周辺で、測定調査を行うとともに、その低減策を講じること。
- 7 万一訓練中に事故・事件が発生した場合は、迅速に対応するとともに、地元自治体、住民等に対し、速やかに情報提供すること。
- 8 放牧及び採草の時期であることを考慮し、訓練期間中の地元住民の行う放牧及び採草について、特段の配慮を行うこと。
- 9 平成30年度国内における米海兵隊との実動訓練に関する地域住民等からの問い合わせ窓口を設置すること。
- 10 今後、日出生台演習場及び十文字原演習場における日米共同訓練を恒常化させないこと。

平成30年12月1日

大分県知事 広瀬 勝貞

別府市長 長野 恭紘

杵築市長 永松 悟

由布市長 相馬 尊重

日出町長 本田 博文

九重町長 日野 康志

玖珠町長 宿利 政和